

コード No. 18871

**Anti-Human  
DNMT-1 (DNA Methyltransferase-1) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

- 
- はじめに : DNA 分子中のシトシンのメチル化は脊椎動物のゲノムを直接的に修飾する唯一の機構であり、DNA メチル化による転写抑制は種々の生命現象や疾患に関与すると考えられています。メチル化を中心とした「DNA の塩基配列の変化を伴わない、生物情報の発現の遺伝的な変化」は「エピジェネティクス」と呼ばれて注目され、近年いくつかのメチル化酵素が同定されています。その中で DNMT-1 は維持型メチル化酵素と呼ばれ、ヘミメチル化 (片鎖のみがメチル化されている)状態の二本鎖 DNA を基質として、体細胞分裂時の DNA 複製において新規に合成された娘鎖に親鎖と同じパターンのメチル化修飾をおこなう機能を持つものです。遺伝子の転写、複製の制御、染色体やゲノムの安定性、遺伝子変異と修復、発生分化、発がん、免疫システムなど多様な生命活動におけるエピジェネティックな変化の研究に有用です。
- 免疫抗原 : Human DNMT-1 の C 端部分合成ペプチド (MLAKARESASAKIKE)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定  
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 約 2 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : HeLa, SY および HT-29 各細胞を用いたウェスタン・ブロッティングにて確認。